

「原発被災地で オーガニックコットンを育てること」

続け

一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
共同代表理事 鈴木 純子

2025. 8. 26





鈴木純子 Junko Suzuki

一社)人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト 共同代表理事



一般社団法人 日本リ・ファッション協会

代表理事

人生のテーマ「誰もが幸せに暮らせる社会」

サステナビリスト(循環する暮らしを探求)

IT企業社長からソーシャルな活動へ転身

ファッションで持続可能な循環型社会の実現

「服育」セミナー

三拠点生活

都会と地方をつなぐ、防災士

パーマカルチャーデザイナー、リジェネラティブ



鈴木純子 Junko Suzuki

＜福島との関わり＞

両親が福島県いわき市出身

0歳の時から福島に行き祖父母や親せきと交流

起業家になるきっかけは祖父が戦後に日本の復興のために起業し奮闘

地域で愛される人生を送っていたこと(←幸せのロールモデル)

東京にて29歳で起業。

現代人の課題: 仕事で壊れ、家庭内の問題抱える、コミュニティー崩壊etc...

解決のため産業界、NPO、政治、地方自治、いろいろなアプローチを試みる。

2008年 一般社団法人法施行。ソーシャルビジネスで社会課題を解決！


着るもので循環型社会を目指す！ →ザ・ピープルとの出会い

2011年 3.11発災直後から復旧復興を自分事ととらえ災害支援に取り組む

ザ・ピープル→小名浜ボランティアセンター→ふくわたと連携

被災地支援で学んだこと

一番の学びは

 **命**を繋ぐために“**尊厳を守る**”

このことから「農家と畑を守る」オーガニックコットンプロジェクトに共感した

前代表 吉田恵美子



繊維の生まれる場と帰って来る場を
整えるプロジェクトを前に進めたい

◆複合災害から14年 市民活動から福島復興の先を考える

3.11 自然災害



震度6弱
津波の高さ 8.57m
(平豊間)

3.12 人為的災害



2011年3月11日2時46分
… そこから長く続く**世界初の複合災害**の影

進む復興の裏側で…

●福島県の農業を取り巻く課題

放射能汚染

情報不足の中で

耕作を諦める農業者の増大

獣害

風評被害

震災体験の風化と

イメージの固定化



2011年3月11日2時46分
... そこから長く続く**世界初の複合災害**の影

進む復興の裏側で...

●いわき特有のコミュニティの課題

異なった被害状況にある人たちの
共生に伴う地域コミュニティの分断
避難と帰還の選択判断の難しさ



福島県の帰還困難区域、2020年代に避難解除へ

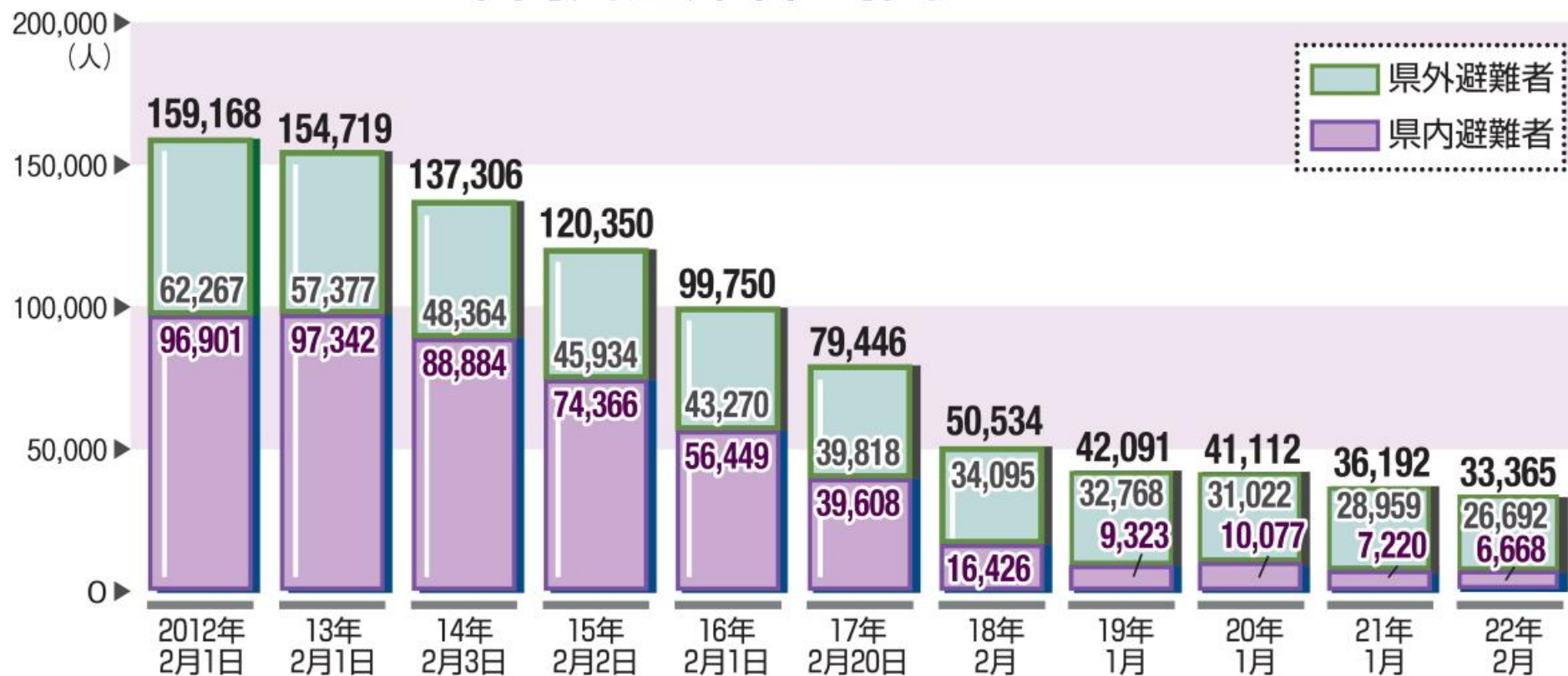


R4.8月に双葉町内でも帰還が始まる

...それでも残る課題



県内外避難者の推移 グラフ①

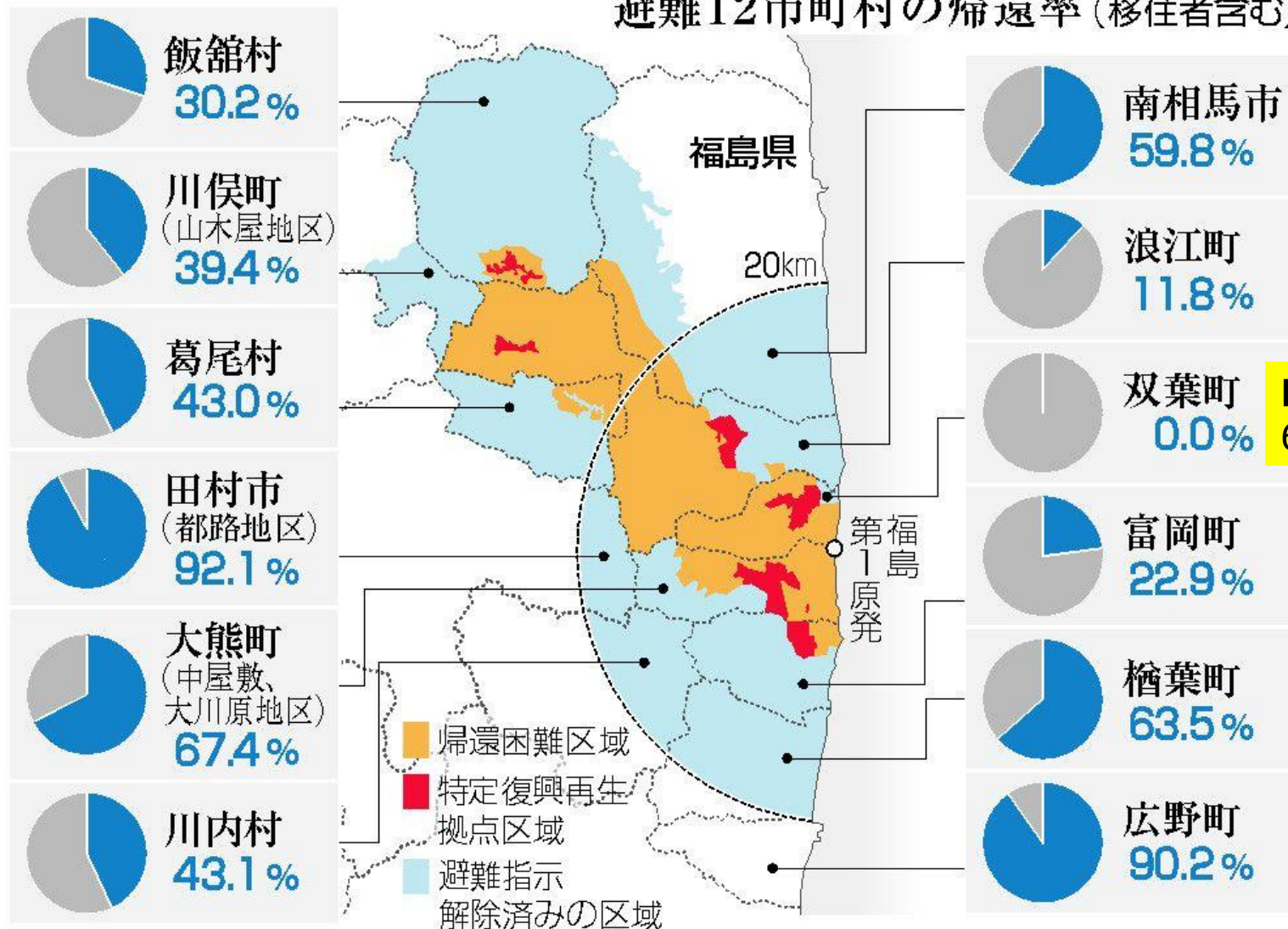


※全体の避難者数には避難先不明者を含むため県内、県外の合計と合わない

出典：福島民友

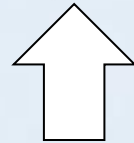
帰還率 50%の避難元町村

避難12市町村の帰還率（移住者含む）



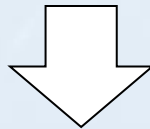
原発避難者に対する 生活実態調査の結果から

【帰還について50%が判断を保留と回答】



決断できる状態に至るまでの期間の長期化
避難から定住への選択の増加

身近な社会関係の形成
単身高齢化の進展



地域共生社会の形成の必要性

ふくわたでは昨年
県内避難者対象の
ツアーを実施。
生のお声を聴いた

これは福島だけの問題ではない(1/3)

「もし自分が被災したら」を

イメージをしながら

ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

の歩みをお聴きください。

これは福島だけの問題ではない(2/3)

自然災害の激甚化

激甚化の現状

・**豪雨**の激甚化：

・短時間強雨（1時間降水量50mm以上）の頻度が増加し、さらに局地化・集中化する傾向が顕著になっています。

・洪水・土砂災害の増加：

・豪雨の激甚化により、河川の氾濫や土石流などの被害が各地で頻発しており、大きな被害をもたらしています。

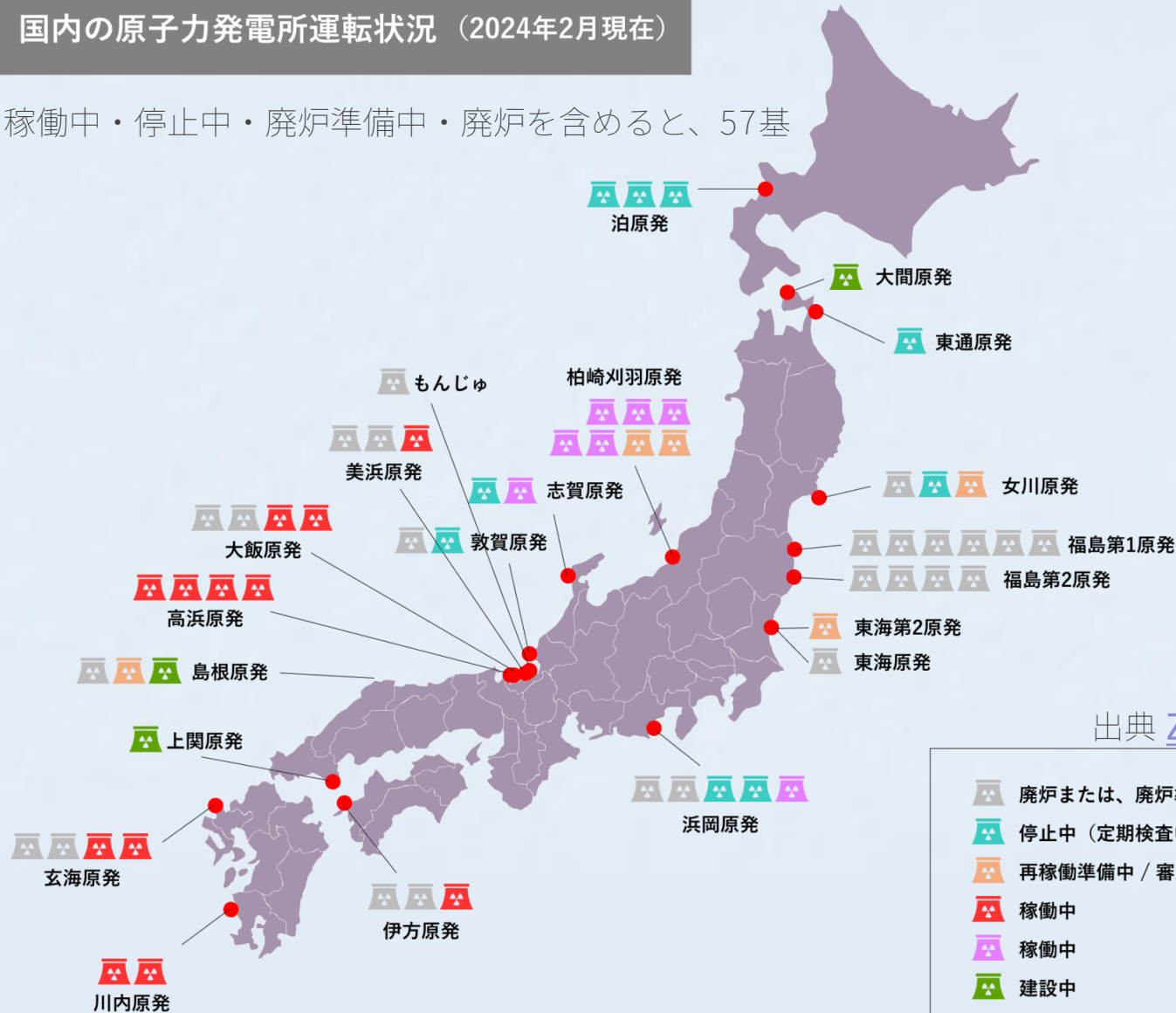
・地震のリスク：

・南海トラフ地震や首都直下地震など、今後発生が懸念される大規模地震の発生確率も高く、切迫した状況にあります。

これは福島だけの問題ではない(3/3)

国内の原子力発電所運転状況 (2024年2月現在)

稼働中・停止中・廃炉準備中・廃炉を含めると、57基



出典 [ZYM ORGANIC](#)

- 廃炉または、廃炉準備中
- 停止中（定期検査中） / 再稼働申請中
- 再稼働準備中 / 審査合格
- 稼働中
- 稼働中
- 建設中

参考: [原子力規制委員会「原子力発電所の現在の運転状況」](#)

参照: 原子力規制委員会『原子力発電所の現在の運転状況』

序章

特定非営利活動法人ザ・ピープル

なぜ古着リサイクルのNPOが

災害ボランティアセンターを立ち上げ

福島特有の課題に取り組む

オーガニックコットン栽培に至ったのか？

◆NPO法人ザ・ピープルとは



住民主体のまちづくり30余年



循環型社会づくり
古着リサイクル事業



障がい者自立支援



海外教育・生活支援



住民意識啓発

3.11発災

災害救援

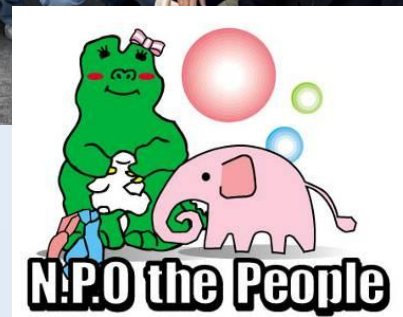
保健・福祉増進

復興へのみち

フード＆クロージングバンク事業

経済活動活性化・農山漁村振興
ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

震災前からのザ・ピープルとしての取組み 地域での古着リサイクル活動





古着リサイクルの実践

リサイクルボックス設置箇所

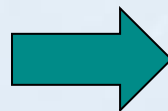
いわき市内20ヶ所

福島県内9市町村

例えば...

デストア店頭・公共施設・
福祉施設...

総回収量 260t/年



地域内で そのまま活かす



チャリティショップ
湯本店・君ヶ塚店
＋
イベントバザー



ウエス材として活用 在宅障がい者の自立を支援



地域内の在宅障がい者に働く場を！
木綿35%以上の素材のTシャツなどを切り開いて工業用ウエスを製造・販売する小規模作業所を立ち上げ
NPO法人化の際に独立させ、現在は単独でNPO法人格を取得
就労支援B型として22名の障がい者の受け皿となっている

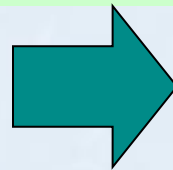
エコウルリサイクル

繊維の状態に戻してフェルト化…自動車内装材としての活用
出来るだけ近隣のエリアでの活用を目指して…

愛知県岡崎市へ⇒岩手県一ノ関市へ

一時期工場の火災が原因となって
出荷停止となった時期があった
単一ルートに頼ることのリスク回
避の必要性

⇒海外輸出ルートの併用



リメイク品を生み出す工房での取り組み

古着リメイク手法の技術指導教室の開催

ボランティアによる古着リメイク品の製造販売ルートの確立

古着を生活のゆとり・楽しみとして戻していくための手法の開発



学生や一般企業に対する ボランティア体験の場の提供

古着リサイクルの現場体験
…自らの消費行動を
振り返る機会に



3.11、そして3.12

特定非営利活動法人ザ・ピープル

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する市民がいる

- ①自分たちが住むまちの問題を自分たち自身で考えます
- ②その問題の解決のために主体的に行動し、
「住民主体のまちづくり」を進めます

理念に基づき走りだす

- ・小名浜災害ボランティアセンター
- ・オーガニックコットン栽培

◆3.11東日本大震災が教えてくれたこと



発災直後からの動きの中で見えてきたこと



緊急時行政任せでことは動かない



自分の農地に自信が持てない...生業を奪われた農業者もまた被災者



人のつながりが再生のための力になる



異なる被災状況にある人々が
共生するまち...
そのコミュニティの課題にも
向き合う必要がある

いわき特有の課題を追って これまで続く取り組み

被災者・避難者・地域住民を繋ぐ



まちづくりを水俣に学ぶ



オーガニックコットンで農業再生を



連携を力に変える



ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

農業と人の繋がりの再生を目指して

複合災害の影響で耕作放棄された農地で、**食用ではなく繊維になる作物であるコットン(在来種の備中茶綿)**を、**農薬などを使わない有機農法で環境負荷をかけずに栽培し、ものづくりまで行うプロジェクト。** **農薬を多用し遺伝子組み換えの種を使用して栽培されているコットンのあり方、繊維の自給率0%という日本の現状を、福島から変えることを目指す。**



◆ふくしまオーガニック コットンプロジェクトとは...

これまで／これから

ふくしま

2012年

福島県浜通り全域
コットン栽培と多様な人々との交流



現在

真に豊かな暮らし、地域、未来を
紡ぎ出し、次世代につなぐ



里山再生事業
都市／農村交流事業

製品

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



浜通り

栽培地の広がり

年度	圃場数	圃場面積 (ha)	栽培体験校数		総収量 (kg)
			小中学校	高校	
2012	15	1.5	1	—	100
2013	30	3.0	10	1	890
2014	28	2.6	10	1	640
2015	28	2.6	30	1	690
2016	24	2.6	21	1	1,000
2017	23	2.3	16	—	660
2018	21	3.0	10	—	900
2019	18	2.0	—	—	470
2020	16	2.0	—	—	630
2021	17	2.1	3	—	680



いわき市



援農体験による人の交流

これまでにコットン畑で汗を流してくれた方の総数
…30,000人を超える

青森八戸高校＊足立区社協＊イオンフィナンシャルサービス＊大阪電気連合＊沖電気・かりんの会＊川越社協＊北茨城災害ボランティアグループ＊金城大学＊コスモスモア＊コヤマドライビングスクール＊三和高校＊ジョンソン＆ジョンソン＊スギ薬局＊聖心女子大＊瀬戸南高校＊ソニー＊つくばみらい市社協＊帝京大学＊東京海上グループ未来塾＊東京ガス＊東京都教育局＊東大付属中等教育学校＊東芝＊東洋大学＊名古屋学院大学＊新潟連合＊日産自動車＊日清製粉グループ＊日本光電＊パタゴニア＆オイシックスドット大地＊鳩山高校＊ピノキオ＊飛龍高校＊三島スクール二葉むさしが丘学園＊ブリヂストン＊武蔵野大学＊横浜市立大学＊立正佼成会＊リボンボラバス＊JICA＊JTB北千住・岡山支店＊KDDI労組＊F-3ツーリスト＊LUSH＊ROCK CORPS＊トリップ＊WE21ジャパン＊いたエコネット＊柏コットンプロジェクト＊コットンドリームいわき＊日本リ・ファッション協会＊農援隊＊目黒コットンプロジェクト
etc



2020年度
コロナ禍の影響で300人/年
まで減少



避難地…栽培を通して深まる交流

地震津波の被災者と原発避難者が隣接して住む公営住宅入居者を中心に事業を運営。
そして避難者が市内のほかの畑の手伝いに出向く。



帰還地…新たな人のつながりを育む



広野町・檜葉町・富岡町・大熊町・飯館村・南相馬市での栽培の広がり



有機農業が人を繋ぎ 新たなコミュニティを生み出す 柳生菜園・みんなの畑菜園



栽培からライトアップまで 子供たちと避難者が共に関わる



県内・県外

大学とのコラボレーションで 栽培・語り伝えが広がる



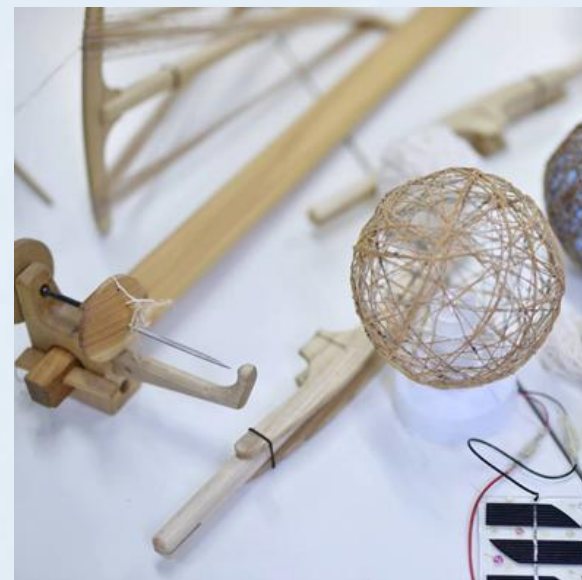
都内の展示会でプロジェクトの
紹介とワークショップを担当

手作りの商品たちに価値を与える COTTON SEEDとしてのブランディング



種付きコットンの人形たち
コットンベイブ

栽培、手紡ぎ、手織りを
経て生まれる小物たち
コットンmam



糸を紡ぐ道具
コットンダディ



新たな価値創造のために
こだわりを持ったものづくり



siome

豊かな故郷の海…潮目
沢山のひととの出会い…潮目
時代の流れをここから変える…潮目



在来種の茶綿を素材とする
からこそ生まれるナチュ
ルな色合いに、MADE IN
JAPANの品質に、福島での
チャレンジの意味を重ねる



ふくしまオーガニックコットンプロジェクト設立へ

ここから潮が引いても前に進めるようにするための整備を

このプロジェクトが地域社会に生み出すもの



農作業を通したコミュニティづくり
多地域間、多世代間交流の促進
福島に対する風評の払拭
環境保全型農業への理解促進
地域農業者への応援
伝統産業への理解促進
子どもたちへの体験を通した産業・環境・震災教育
地域女性たちによる手仕事づくり
未来志向の地域づくりに対する仲間づくり
新たな価値基準に基づく消費行動の促進

ここに
創設者の思いがある

SDGsの目標に照らし合わせると...ほとんどの目標に対応



和綿の栽培を評価



日経新聞 2021年11月28日号NIKKEI THE STYLEでの特集記事

ふくしまオーガニックコットンプロジェクト のこれから

災害教育

環境教育

産業教育

に力を入れます

リアルモニターツアー



ファッションの サーキュラーエコノミーを 考えるモニターツアー

参加人数 **30名**

福島県中通りエリアにおいて、仲間たちと共に有機栽培でコットンを育てる取組を進める。
(一社)ふくしまオーガニックコットンプロジェクトでは、
コットン製品のライフサイクル(綿の栽培から古着のリサイクルまで)を実体験で理解するとともに、
循環型社会の実現に欠かせないサーキュラー・エコノミーについて考えるモニターツアーを実施します。

東京 → 車 → いわき

2022年 **11月19日(土)~20日(日)** 1泊2日

集 合: 東京駅丸の内南口 19日7時15分(出発7時30分)
解 散: 東京駅周辺 20日19時30分(予定)
移動手段: 貸し切り大型バス 有朋会社リボーン・エコリズム・ネットワーク
※商業食油由来の燃料で走る「てんぶらバス」使用
URL: <http://reborn-japan.com>

宿 泊: 常磐湯本温泉 古湯荘
〒972-8321 福島県いわき市常磐湯本町三田 208 TEL 0246-43-219

参加費: 高校生以上 20,000円
・東京駅よりいわき往復の交通費・宿泊料・農業体験コーディネート料・保険料
・使用感確認用のふくしまオーガニックコットンプロジェクトのフェイスタオル・食費の一部を含みます
小中学生 10,000円
・大人と同じ食事での対応、フェイスタオルは含みません
・未就学児の参加は、ご相談ください

申込方法: 下記のオンラインショップからアンケートを申込み下さい。
<https://fukuwata.official.ec/>
・定員に達し次第、受付終了とさせていただきます



主催
ふくしま
一般社団法人 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
URL: <https://fukushima.organic>



衣類の課題

**世界第2位の
環境汚染産業**

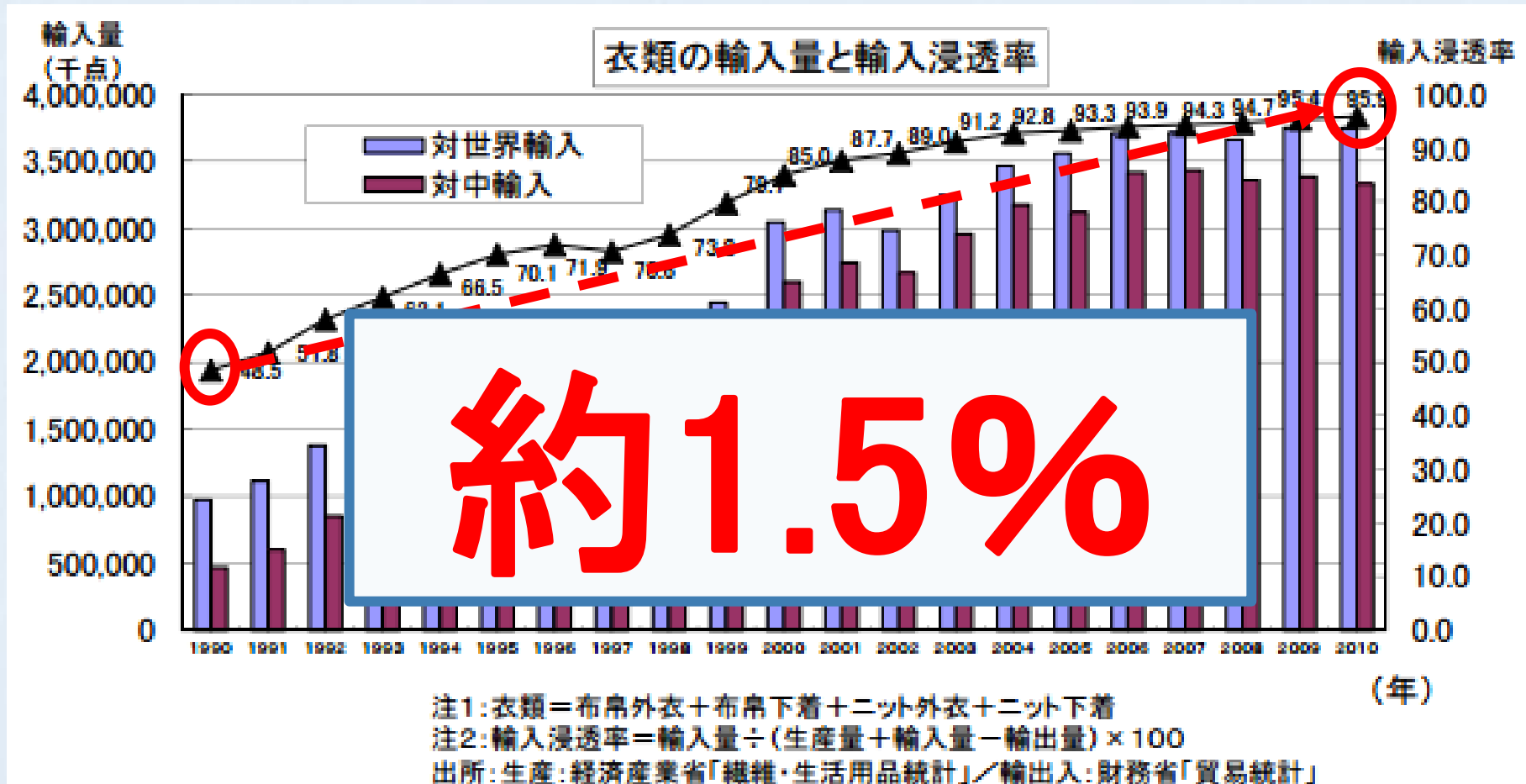
出典：国連貿易開発会議

日本の自給率
繊維製品：1.5%
繊維：ほぼ0

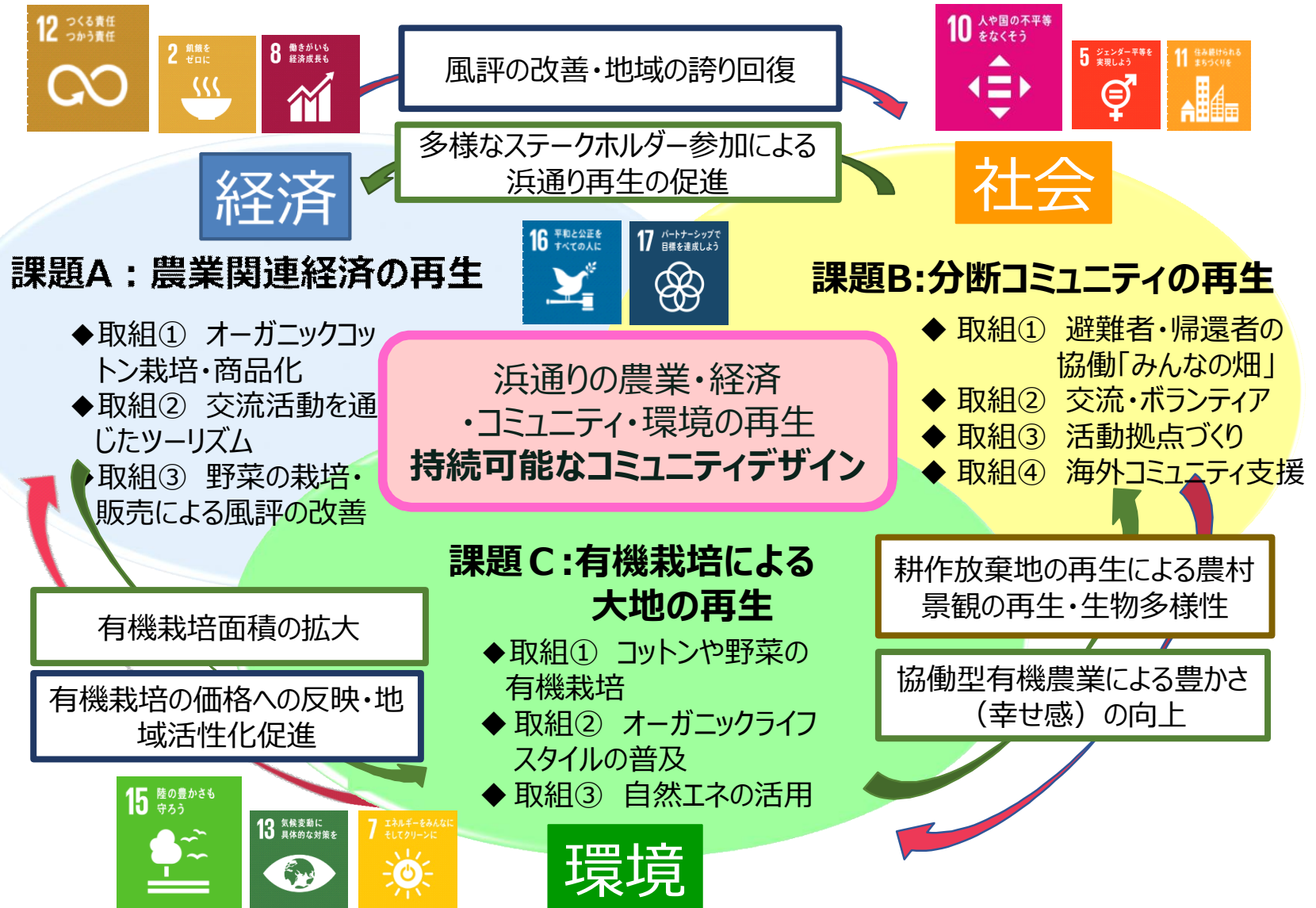


日本の課題 服の自給率低下

1990年の50%→2023年には約1.5%まで減少！



ふくしまオーガニックコットンプロジェクトとSDGs



まとめに代えて

震災前の20年間の活動は長い助走期間
20年で培ったネットワークが震災後走り出す力に！
複合災害から10年、社会情勢は刻々と変化してきた
変化に対応することを意識しなければ支援はいつか
独りよがりなものになりかねなかった
自らが動かなければ状況は変わらないことを私たちは
体験的に学んだ
その学びを伝える責務が私たちにはある

福島の実の復興の日を迎えるために

特定非営利活動法人 ザ・ピープル 前理事長
一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
代表理事
吉田恵美子

「古着を燃やさないまち」を実現した
33年の市民活動を通
して伝えたいこと



ふくしまオーガニックコットンプロジェクト代表理事
ザ・ビーブル前理事長

吉田恵美子

あなたが気づいてしまった
「小さな違和感」が、
社会を変える光になる。

福島県いわき市で古着リサイクル率約90%を実現し、
震災後は耕作放棄地とコミュニティの
両方をオーガニックコットンで再生。
「地味だけどすごい解決策」を
繰り出す実践者が、想いを語る。

土着のイノベーション 英治出版

HOE代表 川北秀人氏推薦！

「災害、コロナ、格差。社会が変わり続けても、
人はつながるから安心できる。
ボランティアとリサイクルでつながりを
紡ぎ続けた吉田さんから学ぼう」

**英治出版より好評発売中！
(絶版しない出版社)**

**読書会の開催予定あり
※11月ごろ**

<ご協力のお願ひ>

- ・ **あなたも読書会の主催者に！**
- ・ **図書館にリクエストを！**



特定非営利活動法人 ザ・ピープル

事務局 〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6

TEL 0246-52-2511 FAX 0246-92-4298

URL: <http://npo-thepeople.com/> EMAIL: the-people@email.plala.or.jp

一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

事務局 〒971-8185 福島県いわき市泉町3-14-1

TEL/ FAX 0246-96-6886

URL: <http://fukushima.organic>

EMAIL: info@fukushima.organic

おまけ

カンボジア視察してきました(1/3)



おまけ

カンボジア視察してきました(2/3)



ゴミ山に暮らす人々と交流



おまけ

カンボジア視察してきました(3/3)

植民地→内戦 からの復興

国家予算の10%が教育に

過去にあったことを恨まない

今を生きる

驚くほど質素だけど穏やかで幸せな笑顔

人間にとっての幸せとは何か？

コットン収穫ツアーのご案内



2025年10月5日(日)

東京駅 7時15分 集合 (7時30分出発)

※雨天決行

詳細は有限会社リボーンの公式サイト参照

